

地理歴史

地理 A

(100点)
60分

この問題冊子には、「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」の6科目を掲載しています。解答する科目を間違えないよう選択しない。

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。
- 3 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選択方法
世界史 A	4～25	左の6科目のうちから1科目を選択し、解答しなさい。
世界史 B	26～51	
日本史 A	52～75	
日本史 B	76～103	
地理 A	104～137	
地理 B	138～175	

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 受験番号欄

受験番号(数字及び英字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄、試験場コード欄

氏名・フリガナ及び試験場コード(数字)を記入しなさい。

裏表紙に続く。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、10と表示のある問い合わせて③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号 10 の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

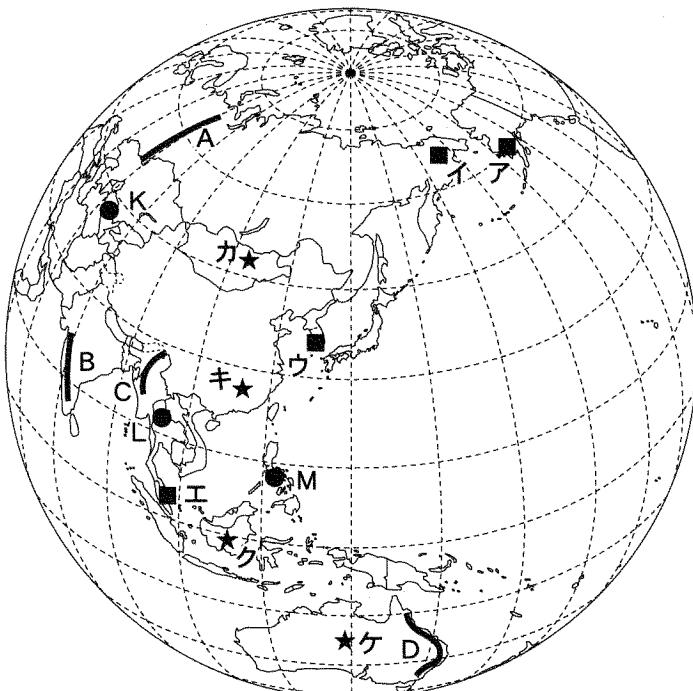
解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

地 理 A

(解答番号 ~)

第1問 次の図1を見て、地理の基礎的事項に関する下の問い合わせ(問1~8)に答えよ。(配点 16)



緯線・経線は15度間隔。

明石市を中心とする正射図法による。

周辺部については国境線を一部省略。

図 1

問1 図1中のア~エで示された地点のうち、日本が1月1日の午前6時のとき、
日付が1月1日ではない地点を、次の①~④のうちから一つ選べ。

① ア

② イ

③ ウ

④ エ

地理A

問 2 図1中のA～Dの山脈のうち、新期造山帯に位置しているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

① A

② B

③ C

④ D

問 3 次の文章は、図1中のカ～ケのいずれかの地点における人々の生活について述べたものである。この文章に該当する地点を、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

雨季が短く降水量が少ないため、ステップとよばれる草原が広がっている。この草原では、多様な家畜を飼育する遊牧民が、自然の草を求めて季節的に移動しながら生活している。木の骨組みと羊の毛のフェルトから作られる住居は、短時間で組み立てることができるため、移動に適している。

① カ

② キ

③ ク

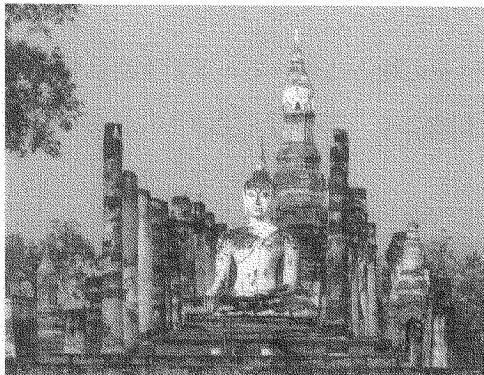
④ ケ

問 4 図1を参考にして、日本の領土の範囲に関する文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 4

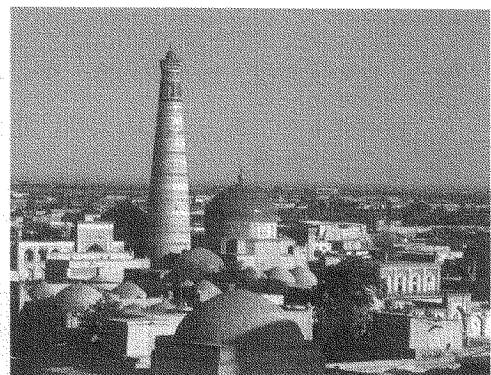
- ① 日本の領土の北端と南端の緯度の間に、モンゴル全土が位置している。
- ② 日本の領土の東端と西端の経度の間に、オーストラリア大陸の全体が位置している。
- ③ 日本の領土の南端は、北回帰線より南に位置している。
- ④ 日本の領土の北端は、北極圏に位置している。

地理A

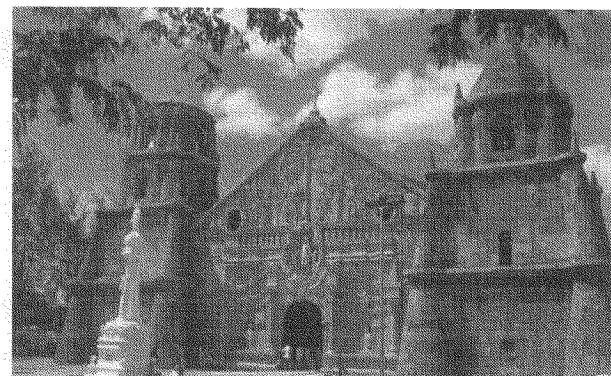
問 5 次の写真1中のサ～スは、図1中のK～Mのいずれかの地点でみられる世界文化遺産となっている宗教施設の写真である。サ～スとK～Mとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5



サ



シ



ス

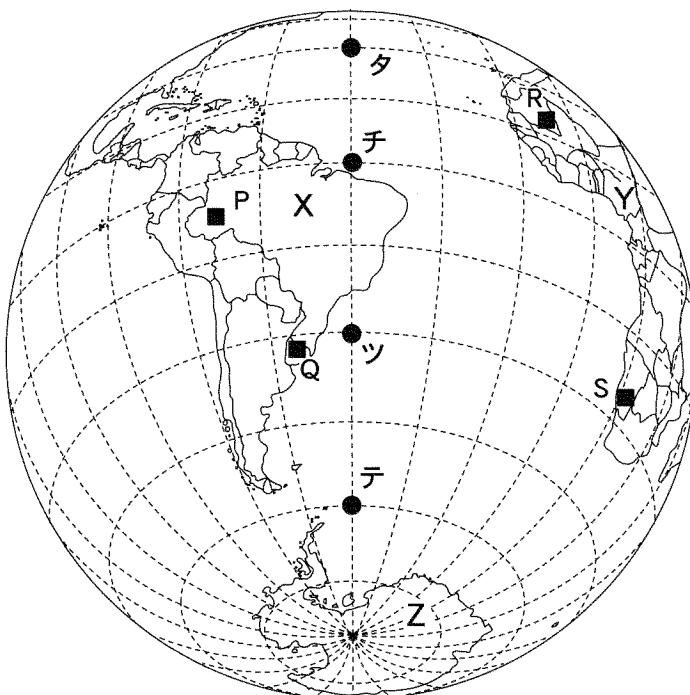
写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
サ	K	K	L	L	M	M
シ	L	M	K	M	K	L
ス	M	L	M	K	L	K

地理A

問 6 次の図2は、明石市の対蹠点(地球の中心をはさんだ正反対の地点)を中心として表した地図であり、図1と同じ図法で示してある。図2中のタ～テで示された地点のうち、図1の中心である明石市からの距離が最も近いものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

6



緯線・経線は15度間隔。
周辺部については国境線を一部省略。

図 2

① タ

② チ

③ ツ

④ テ

問 7 図2中のP～Sの4地点のうち、二つの地点は同じ気候帯に属している。この二つの地点の正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

7

① PとQ ② PとR ③ PとS ④ QとR ⑤ QとS ⑥ RとS

地理 A

問 8 図 2 に示された X～Z の大陸について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 8

- ① X大陸では、インディオとヨーロッパ系移民の混血はメスチソとよばれている。
- ② Y大陸では、北部はフランスから、南部はスペインから独立した国が多い。
- ③ Z大陸では、その上空でオゾンホールが最初に確認された。
- ④ X～Z大陸は、プレートテクトニクス理論によると、かつて一つの大陸の一部であった。

地理A

(下書き用紙)

地理Aの試験問題は次に続く。

地理A

第2問 山陰地方の高校に通うミキさんは、市町村規模の地域調査を行うことになった。地域調査のテーマ設定と調査方法について、ミキさんと先生が交わした次の会話文を読み、下の問い合わせ(問1~7)に答えよ。(配点 21)

ミキさん 「地域調査のことですが、対象地域はどのように選べばよいでしょうか。」

先生 「身近な市町村で、自然や産業について興味をもったところがよいと思うよ。」

ミキさん 「地図帳を見ると、山陰地方の海岸線は瀬戸内海に比べると単調なところが多いですね。」

先生 「地図帳をよく見てみよう。^{さかいみなど}①境港市とその周辺にはいろいろな地形があるよ。」

ミキさん 「境港市は②弓ヶ浜半島に位置していますね。境漁港は魚介類の水揚量が日本一になった時期があるんですよね。」

先生 「そうだね。1990年代に日本一になったことがあるね。この時期に比べて、現在の魚介類の水揚量はかなり変化しているようだよ。」

ミキさん 「先生、境港市を対象地域として、漁業の特徴と変化を中心に調査をしてみようと思います。」

先生 「それはおもしろそうだね。まず、予備調査として③地形図や④統計資料などを調べて分析してみよう。さらに、現地調査で⑤様々な情報や資料を集めて分析してみよう。」

問 1 下線部①に関して、ミキさんは境港市とその周辺の地形の様子を調べてみることにした。次の図1は、境港市を中心とした20万分の1地勢図(原寸、一部改変)である。図1から読み取れる地形の様子について説明した下の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

9



図 1

境港市が位置する弓ヶ浜半島は美保湾の沿岸流により発達した砂州であり、中海は①潟湖(ラグーン)である。中海に流れ込む飯梨川河口部には②三角州(デルタ)が発達しており、中海にある大根島は③陸繫島である。弓ヶ浜半島に相対する島根半島の北岸には④リアス式海岸が発達している。

地理A

問 2 下線部⑤に関して、ミキさんは上空からの写真を用いて弓ヶ浜半島付近の地形の特徴を確認することにした。次の写真1は、図1中のA～Dのいずれかの地点の上空から矢印の方向に向かって撮影されたものである。写真1の撮影方向として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

10



写真 1

① A

② B

③ C

④ D

問 3 下線部⑥に関して、ミキさんは境港市の土地利用の特徴を調べてみることにした。次ページの図2は、境港市的一部分を示した2万5千分の1地形図(原寸、一部改変)である。図1と図2から読み取れることがらを述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

11

地理 A



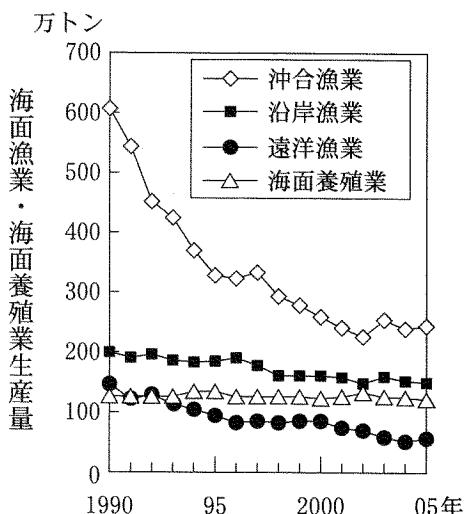
図 2

- ① 図 2 中の北西部の建物の密集地は、境港市の北部に位置している。
- ② 図 2 中の北東部の昭和町の工場は、美保湾側の造成地に立地している。
- ③ 図 2 中の中央部の中野町付近の建物は、標高 10 m 以上に位置している。
- ④ 図 2 中の南西部の深田川付近の農地は、畑と水田が列状に並んでいる。

地理A

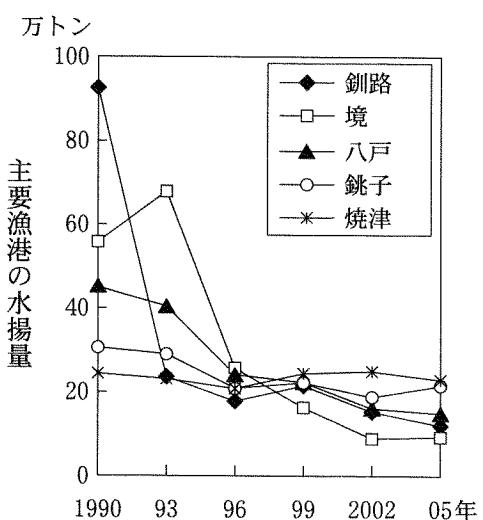
問 4 下線部①に関して、ミキさんは統計資料を調べ、次の図3に日本における海面漁業・海面養殖業生産量の推移を、図4に1990年における水揚量が上位5位までの主要漁港の水揚量の推移を示した。図3と図4から読み取れることがらを述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

12



『漁業・養殖業生産統計年報』により作成。

図 3



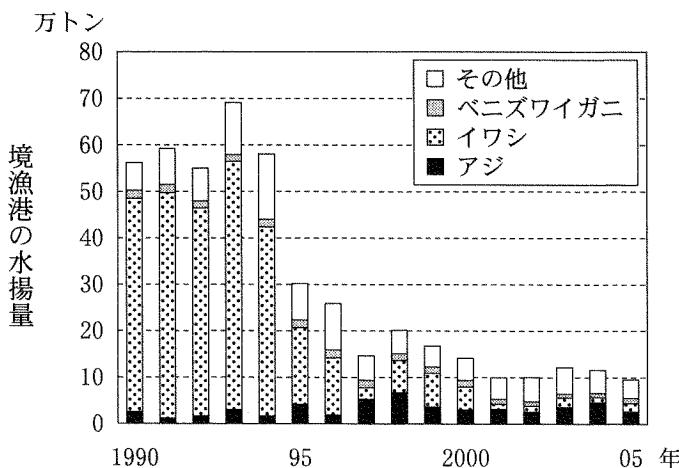
『水産物流通統計年報』により作成。

図 4

- ① 1990年以降の日本における海面漁業・海面養殖業生産量は、すべての種類で減少傾向にある。
- ② 1990年～2005年の主要漁港の水揚量の減少率は、境漁港が最も大きい。
- ③ 1993年において、境漁港の水揚量は、日本における海面漁業・海面養殖業生産量合計の10%より少ない。
- ④ 1990年以降の境漁港の水揚量の変化は、日本における沖合漁業の生産量と同じ傾向にある。

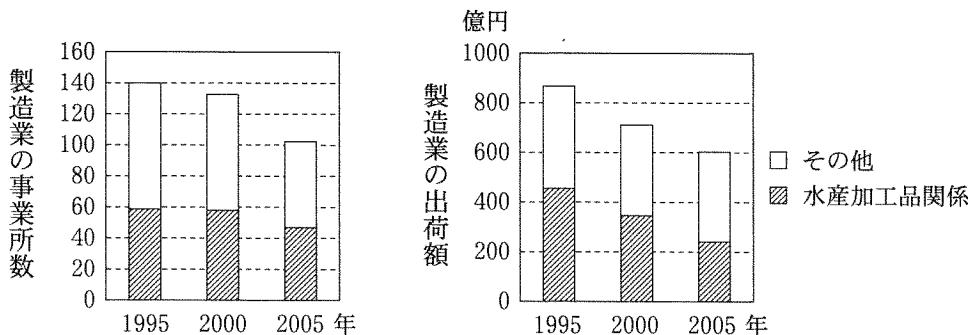
問 5 下線部②に関して、ミキさんは境港市で資料を集め、次ページの図5に境漁港の魚介類の水揚量の推移を、図6に境港市の製造業の事業所数とその出荷額の推移を示した。図5と図6から読み取れることがらを述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

13



境港市の資料により作成。

図 5



製造業の事業所数と出荷額は、従業者数4人以上の事業所。

境港市の資料により作成。

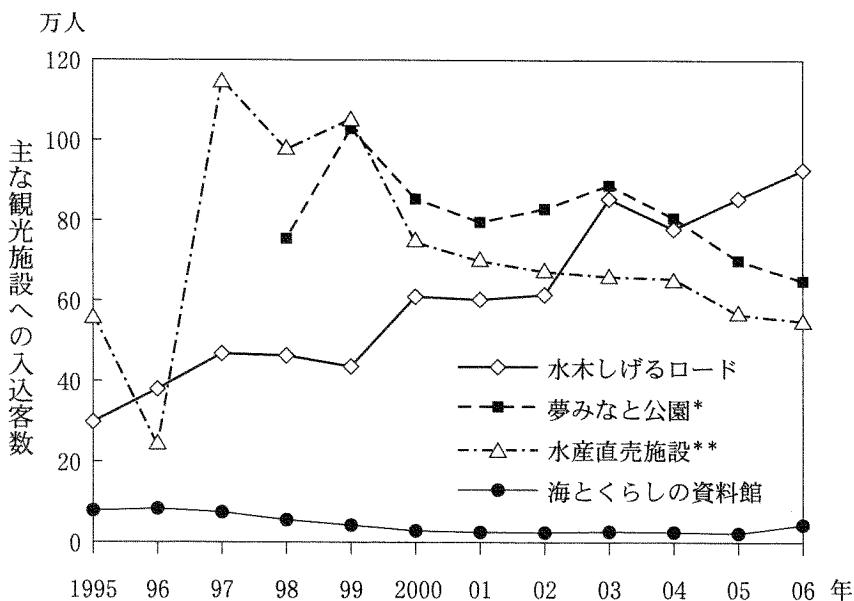
図 6

- ① 1990年以降の境漁港における水揚量の変化は、他の魚介類と比べて、イワシの水揚量の変化による影響が最も大きい。
- ② 1995年～2005年にかけて、水産加工品関係製造業における1事業所当たりの出荷額は増加している。
- ③ 1995年と2005年を比較すると、境漁港の水揚量の減少率は、水産加工品関係製造業における事業所数と出荷額のそれぞれの減少率より大きい。
- ④ 境漁港の水揚量が減少したことなどにより、水産加工品関係製造業における事業所数と出荷額はともに減少傾向にある。

地理A

問 6 下線部④に関して、ミキさんは境港市が観光に力を入れていることを知り、図2中の主な観光施設への入込客数の推移を示した次の図7を作成した。図7に関連してそれぞれの観光施設についてより詳しく調べる方法を述べた文としで下線部が適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14



*夢みなと公園は1998年にオープンした。

**水産直売施設の値は2か所の合計。

境港市の資料により作成。

図 7

- ① 1995年以降、「水木しげるロード」の入込客数が増加傾向にある背景について、水木しげるロードを歩いて特徴ある設備・施設や店の種類を調べる。
- ② 1998年以降、「夢みなと公園」の入込客数が60万人を維持していることと訪問者の交通手段との関係について、夢みなと公園内で訪問者数を調べる。
- ③ 1999年以降の「水産直売施設」における入込客数の減少とともに売上高の変化について、水産直売施設の各店舗で売上高に関する情報を収集する。
- ④ 2005年～2006年にかけて、「海とくらしの資料館」の入込客数が増加した背景について、海とくらしの資料館でこの期間の取組みを聞き取り調査する。

地理 A

問 7 下線部②に関して、ミキさんは、^{さかいこう}境港が国の輸入促進地域であることに興味をもった。次の表1は、境港について、いくつかの環日本海諸国との貨物貿易の総量と上位2品目の輸出・輸入量を示したものであり、アおよびイは輸出または輸入、XおよびYは中国*またはロシアのいずれかである。表1中のアとXに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

15

*台湾を含まない。

表 1

(単位:トン)

	X		Y		韓 国	
貿易総量	543,232		152,285		69,873	
ア	完成自動車	3,570	紙・パルプ	66,475	金属クズ	6,329
	自動車部品	33	金属クズ	5,510	水産品	3,883
イ	原 木	531,657	鉄 鋼	15,649	重 油	35,848
	木材チップ	4,504	製造食品	13,447	石油製品	4,648

統計年次は2006年。

『境港港湾統計年報』により作成。

	①	②	③	④
ア	輸 出	輸 出	輸 入	輸 入
X	中 国	ロシア	中 国	ロシア

地理A

第3問 現代世界における地域の結びつきとその変化に関する次の問い合わせ(問1~7)に答えよ。(配点 21)

問1 次の表1は、1975年、1990年、2005年における日本の輸入相手先について輸入額の上位5か国を示したものであり、ア～ウはアメリカ合衆国、サウジアラビア、中国*のいずれかである。表1中のア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

16

*台湾、ホンコンを含まない。

表 1

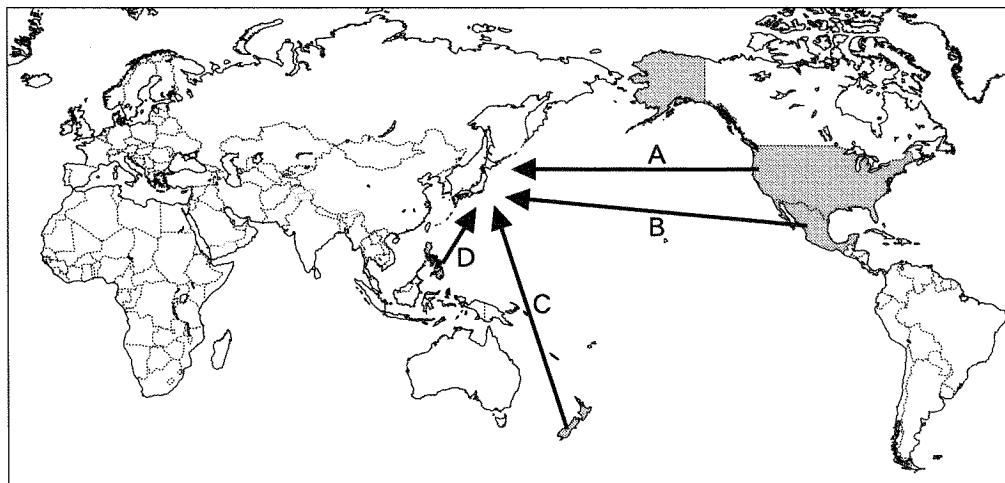
順位	1975年	1990年	2005年
1位	ア	ア	ウ
2位	イ	インドネシア	ア
3位	イラン	オーストラリア	イ
4位	オーストラリア	ウ	アラブ首長国連邦
5位	インドネシア	韓国	オーストラリア

『日本国勢団会』により作成。

	ア	イ	ウ
①	アメリカ合衆国	サウジアラビア	中國
②	アメリカ合衆国	中國	サウジアラビア
③	サウジアラビア	アメリカ合衆国	中國
④	サウジアラビア	中國	アメリカ合衆国
⑤	中國	アメリカ合衆国	サウジアラビア
⑥	中國	サウジアラビア	アメリカ合衆国

問 2 次の図 1 中の A～D の矢印は、下の①～④のいずれかの農産物について、日本における輸入量と輸入額がともに 1 位となる輸入相手国からの農産物の流れを示したものである。図 1 中の A の矢印に該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

17



統計年次は 2006 年。

ジェトロの資料により作成。

図 1

- | | |
|------------|------------------|
| ① アボカド、メロン | ② グレープフルーツ、サクランボ |
| ③ カボチャ、キウイ | ④ パイナップル、バナナ |

地理A

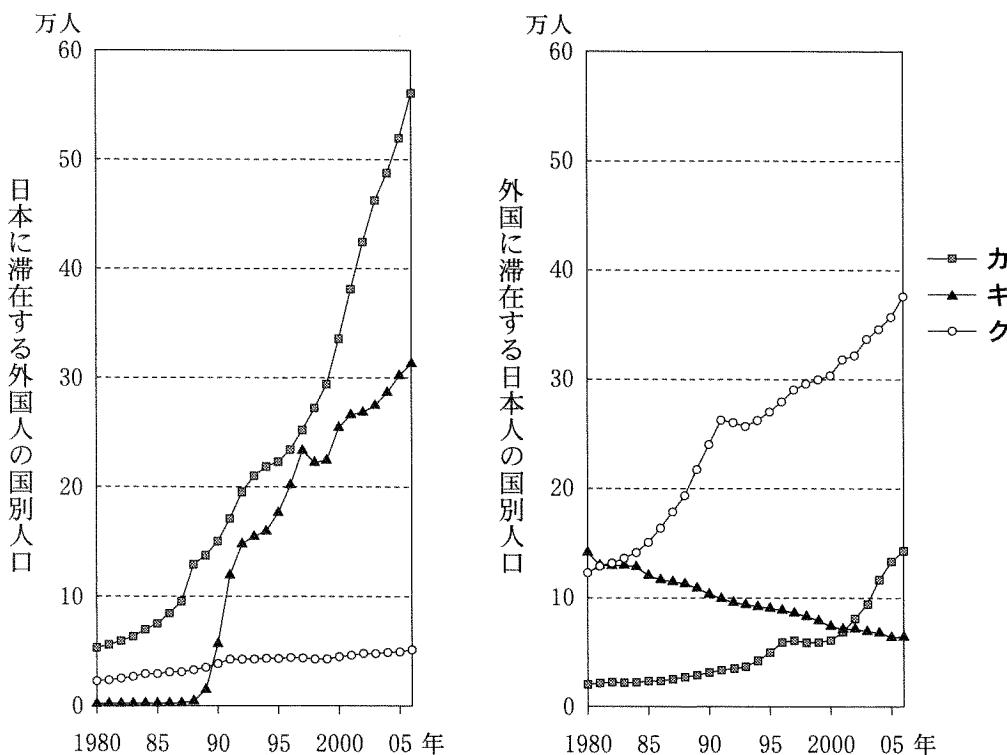
問 3 次の図2は、日本に滞在する外国人の国別人口*と外国に滞在する日本人**の国別人口の変化を示したものであり、力～クはアメリカ合衆国、中国***、ブラジルのいずれかである。図2中の力～クと国名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

18

*国籍別外国人登録者数。

**日本国籍を有し、外国に3か月以上滞在または永住する者。

***台湾、香港、マカオを含む。



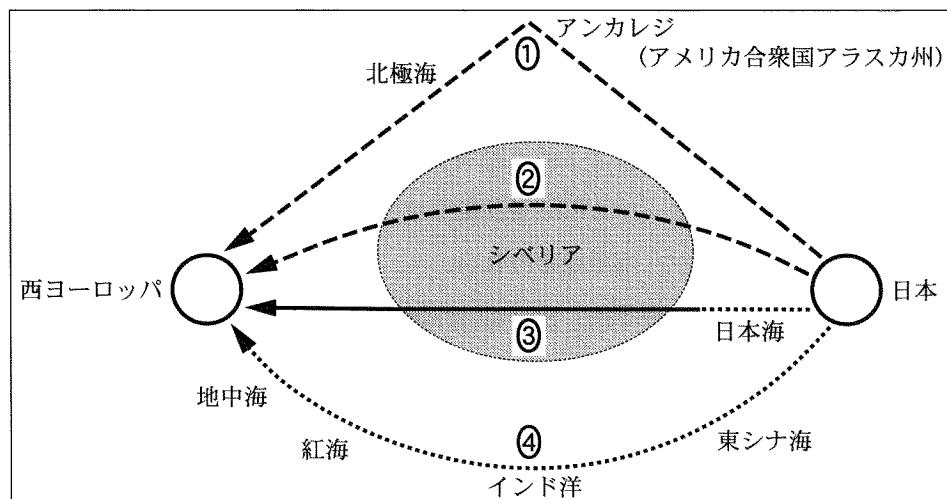
法務省入国管理局の資料などにより作成。

図 2

	力	キ	ク
①	アメリカ合衆国	中 国	ブラジル
②	アメリカ合衆国	ブラジル	中 国
③	中 国	アメリカ合衆国	ブラジル
④	中 国	ブラジル	アメリカ合衆国
⑤	ブラジル	アメリカ合衆国	中 国
⑥	ブラジル	中 国	アメリカ合衆国

問 4 次の図3は、日本から西ヨーロッパへの時代別的主要な旅客輸送経路の一つを、それぞれ模式的に示したものである。図3中の①～④は、1884(明治17)年、1934(昭和9)年、1964(昭和39)年、2002(平成14)年のいずれかの時点における、所要時間が最短の経路である。それぞれの所要時間は、約44日、約15日、約19時間、約13時間であった。1964(昭和39)年の経路に該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

19



線種の違いは交通手段の違いを表す。

図 3

地理A

問 5 交通機関や輸送手段に関する近年の変化について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① 人々の国際的な移動・交流は、航空交通網が地球規模で拡大してきたことにより、船舶よりも航空機に大きく依存するようになった。
- ② 世界の貨物輸送量に占める航空輸送貨物量の割合は、貨物専用航空機の大型化と便数の増加により、水上輸送を上回るようになった。
- ③ ヨーロッパでは、交通渋滞や環境問題に対応して、自動車の利用を抑制したり、路面電車の利用を促進する都市が現れた。
- ④ 東アジアでは、日本以外の国・地域でも、高速交通網の基幹となる新幹線の建設が相次いだ。

問 6 情報通信技術の革新と、産業や生活とのかかわりについて述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 通信技術と時差を利用し、遠隔地間で連携しながら効率的に開発業務を行うソフトウェア産業が出現した。
- ② インターネットの普及にともない、不正アクセスなどによる不法行為やコンピュータウィルスによる被害が国境を越えた問題となってきた。
- ③ 大陸間の海底ケーブル網の敷設密度は、経済活動が活発な国が多く存在する北半球のほうが、南半球より高い。
- ④ 人口密度の低い国では、携帯電話は固定電話に比べて施設整備のコストが高いため、普及していない。

問 7 次の図4中に示したP～Sは、1990年代以降、国家の形態や国家間結合のあり方に変化がみられた国々であり、下の①～④の文はP～Sのいずれかについて説明したものである。Pの国々に該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

22

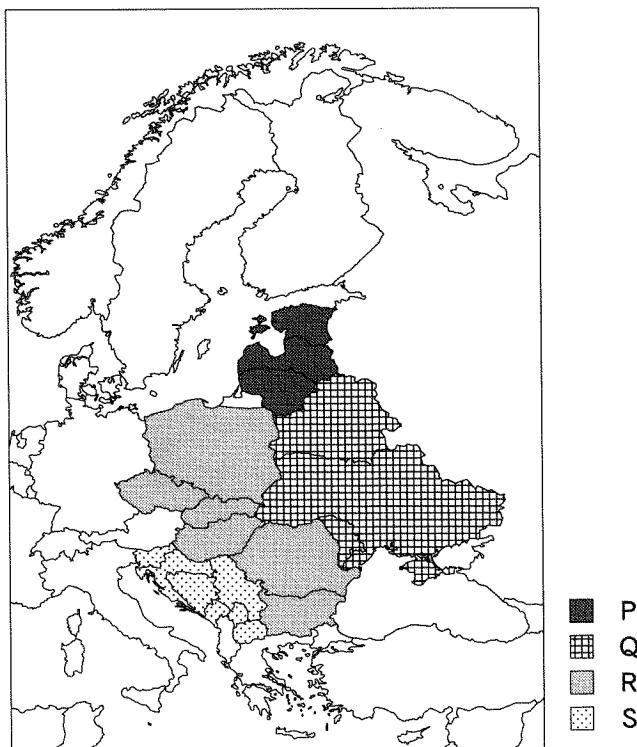
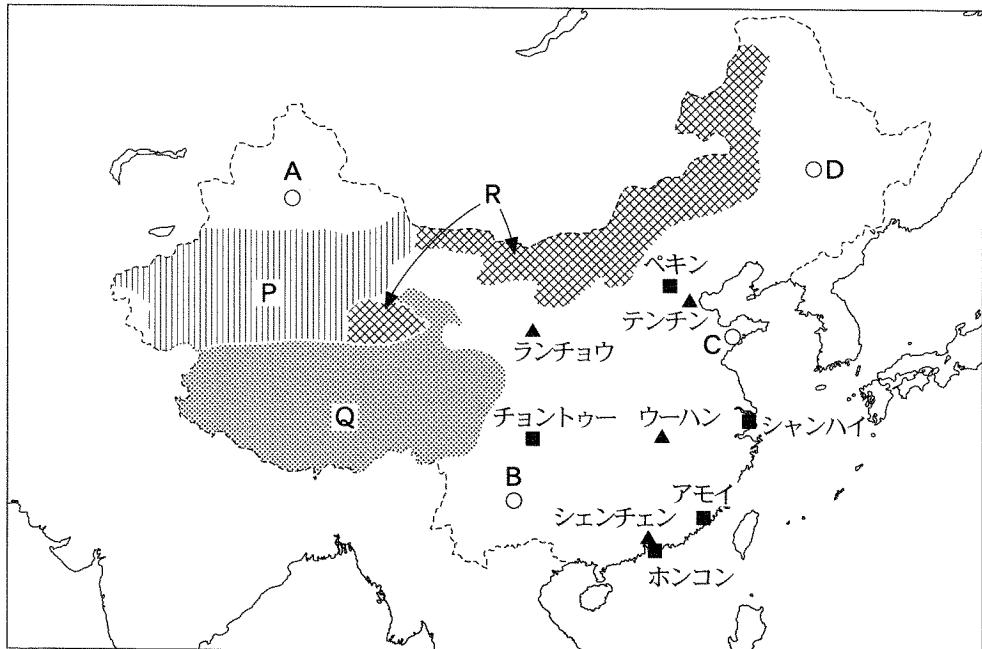


図 4

- ① かつてはソビエト連邦を構成する共和国であったが、現在はロシアを中心とする国家連合である CIS(独立国家共同体) の加盟国である。
- ② かつてはソビエト連邦を構成する共和国であったが、以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。
- ③ かつてはソビエト連邦を中心とする軍事同盟の加盟国であったが、以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。
- ④ かつては一つの連邦国家であったが、複数の国家に分裂し、その一部の国は、以前敵対していた国々と現在は軍事同盟を結んでいる。

地理 A

第4問 次の図1を見て、中国の自然環境、生活文化および産業に関する下の問い合わせ(問1～8)に答えよ。(配点 24)



国境線は、設問にかかる部分のみを記入した。

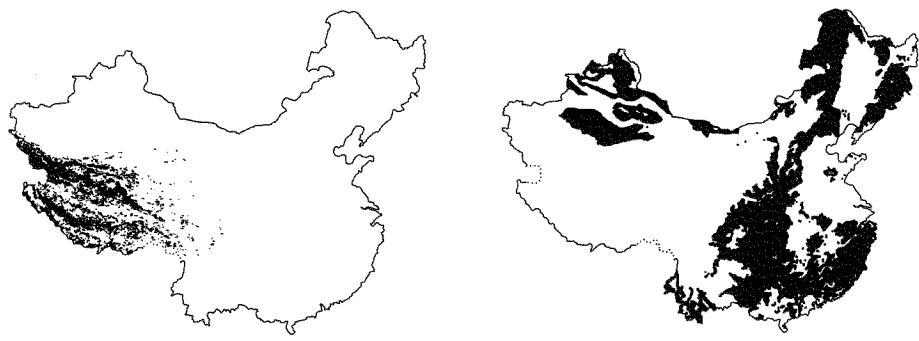
『中華人民共和国地図集』などにより作成。

図 1

地理A

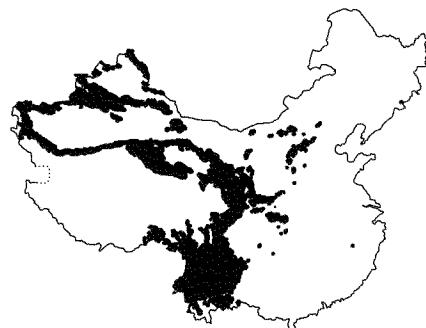
問 1 次の図2中のア～ウの濃く示した部分は、標高500～1,000m, 2,000～3,000m, 5,000m以上のいずれかの標高の範囲を示したものである。図2中のア～ウと標高値との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

23



ア

イ



ウ

National Geophysical Data Center の資料により作成。

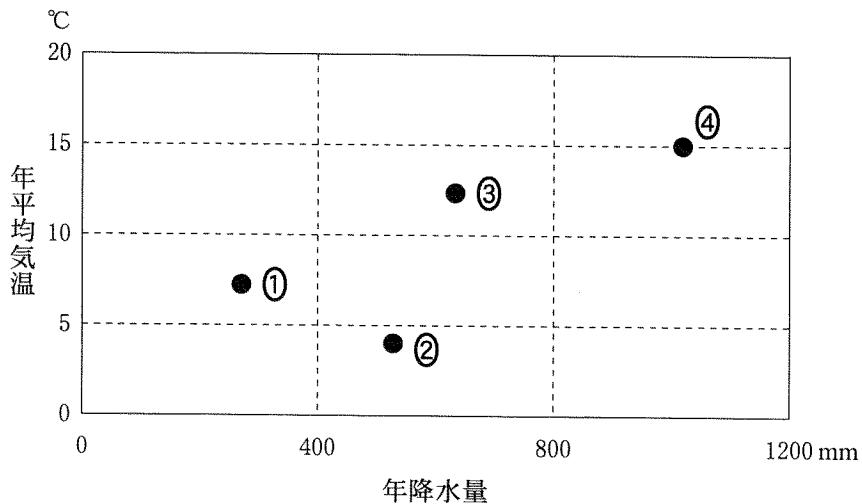
図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
500～1,000 m	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
2,000～3,000 m	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
5,000 m 以上	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理A

問 2 次の図3は、図1中のA～Dのいずれかの都市における年降水量と年平均気温を示したものである。Aに該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

24

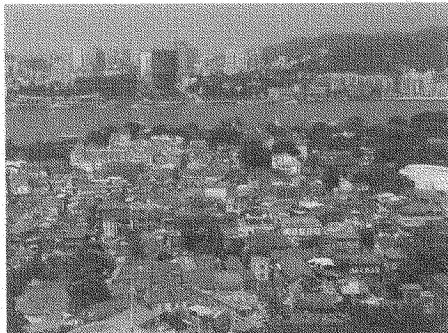


『理科年表』により作成。

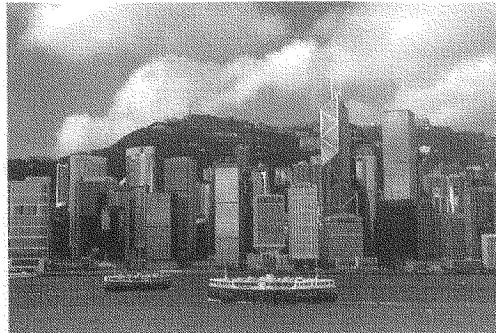
図 3

問 3 次の写真1中のカ～クは、図1中のアモイ、シャンハイ、ホンコンのいずれかの都市の特徴的な景観を撮影したものである。写真1中のカ～クと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

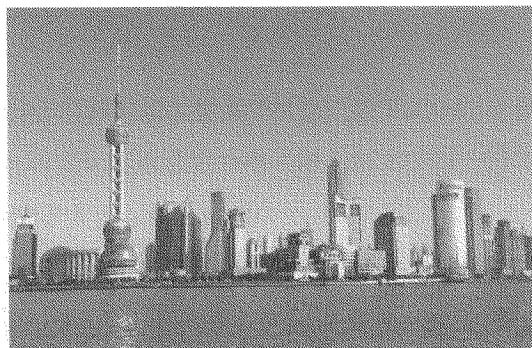
25



カ 経済特区に指定されている古くからの港町



キ 中継貿易によって発展した世界有数の金融・貿易センター



ク 1990年代以降金融・貿易センターをめざし開発が進む地区

写真 1

	カ	キ	ク
①	アモイ	シャンハイ	ホンコン
②	アモイ	ホンコン	シャンハイ
③	シャンハイ	アモイ	ホンコン
④	シャンハイ	ホンコン	アモイ
⑤	ホンコン	アモイ	シャンハイ
⑥	ホンコン	シャンハイ	アモイ

地理A

問 4 中国では、漢族が人口の約9割を占めているが、少数民族が多く住む地域もある。図1中のP～Rは、ウイグル族、チベット族、モンゴル族のいずれかが多く居住する地域を示している。図1中のP～Rと民族名との正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。

26

	P	Q	R
①	ウイグル族	チベット族	モンゴル族
②	ウイグル族	モンゴル族	チベット族
③	チベット族	ウイグル族	モンゴル族
④	チベット族	モンゴル族	ウイグル族
⑤	モンゴル族	ウイグル族	チベット族
⑥	モンゴル族	チベット族	ウイグル族

問 5 広大な国土をもつ中国では、自然や農業の地域特性をいかした多様な料理がみられる。次の①～④の文は、図1中に示したシャンハイ、チヨントー(成都)、ペキン、ホンコンのいずれかの都市を中心とする地域に特徴的にみられる料理について説明したものである。ホンコンを中心とする地域にみられる料理について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

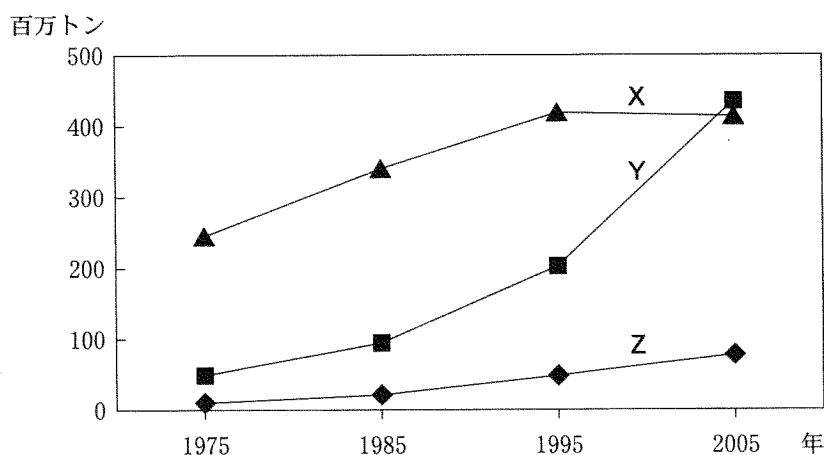
- ① 谷物の粉から作った料理が多く、肉まんや餃子、麵類などの料理が代表的で、脂っこく塩味のきいた味つけに特徴がある。
- ② 魚介類を使ったあんかけ料理や小龍包などの料理が代表的で、濃厚な味つけに特徴がある。
- ③ チリソースを使った料理やマーボー豆腐が代表的で、香辛料を多く用いた酸味と辛味がきいた味つけに特徴がある。
- ④ 豊富な食材をいかした春巻やシューマイなどの点心やフカヒレスープが代表的で、淡泊な味つけに特徴がある。

地理A

問 6 次の図4中のX～Zは、中国*における穀類、肉類、野菜のいずれかの生産量の推移を示したものである。図4中のX～Zと農產品名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

28

*ホンコンを含まない。



『世界国勢団会』などにより作成。

図 4

	X	Y	Z
①	穀類	肉類	野菜
②	穀類	野菜	肉類
③	肉類	穀類	野菜
④	肉類	野菜	穀類
⑤	野菜	穀類	肉類
⑥	野菜	肉類	穀類

地理A

問 7 次の①～④の文は、図1中に示した工業都市であるウーハン(武漢)、シェンチエン(深圳)、テンチン(天津)、ランチョウ(蘭州)のいずれかについて述べたものである。シェンチエンについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① 中央直轄市の一つで、豊富な鉱産資源を背景に鉄鋼業や機械工業などが発達している。
- ② 経済特区として最も早く指定された都市であり、外国企業が進出し、軽工業、電気・電子工業などが発達している。
- ③ 水陸交通の要地で商工業が発達するとともに、中国における三大鉄鋼コンビナートの一つが立地している。
- ④ 古くから交通の要地として栄えた都市であり、現在は石油精製工業を中心とした化学工業や機械工業が盛んである。

問 8 中國と日本は様々な交流の歴史をもつ。両国間の交流について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 中國と日本の間の人の交流は近年ますます増加し、両国間では観光や商業目的の渡航者も増加している。
- ② 中國では改革開放後、多くの日本企業が沿海部に工場などを設け、日本に向けて様々な商品が輸出されるようになった。
- ③ かきよう 華僑・華人とよばれる中国系の人々は世界各地に居住しており、日本でも中華街(チャイナタウン)を形成している。
- ④ 中國と日本で使われている漢字は、かつては異なるものが使用されていたが、現在はまったく同じものが使用されている。

地理A

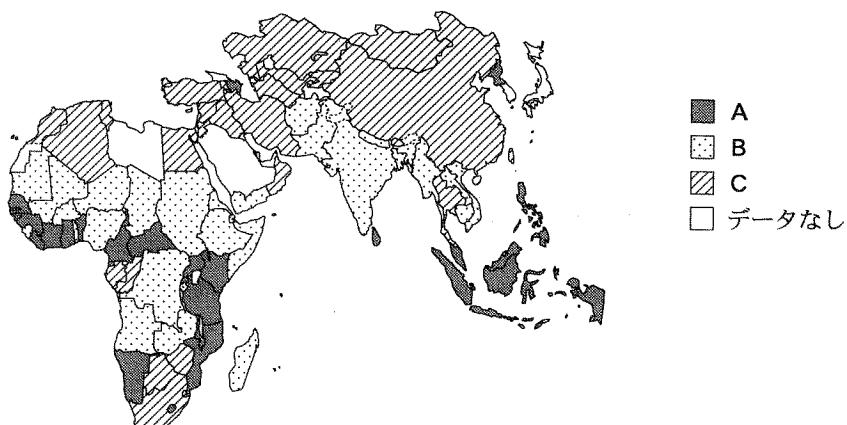
第5問 食料にかかる地球的課題に関する次の問い(問1~6)に答えよ。

(配点 18)

問1 次の図1は、アジアとアフリカについて、年齢のわりに低体重である子ども*の割合を国・地域別に示したものであり、A~Cはその割合が高位、中位、低位のいずれかである。図1中のA~Cと年齢のわりに低体重である子どもの割合の高低との正しい組合せを、下の①~⑥のうちから一つ選べ。

31

* 5歳未満。



統計年次は、1996/97年～2006年の中のいずれか。

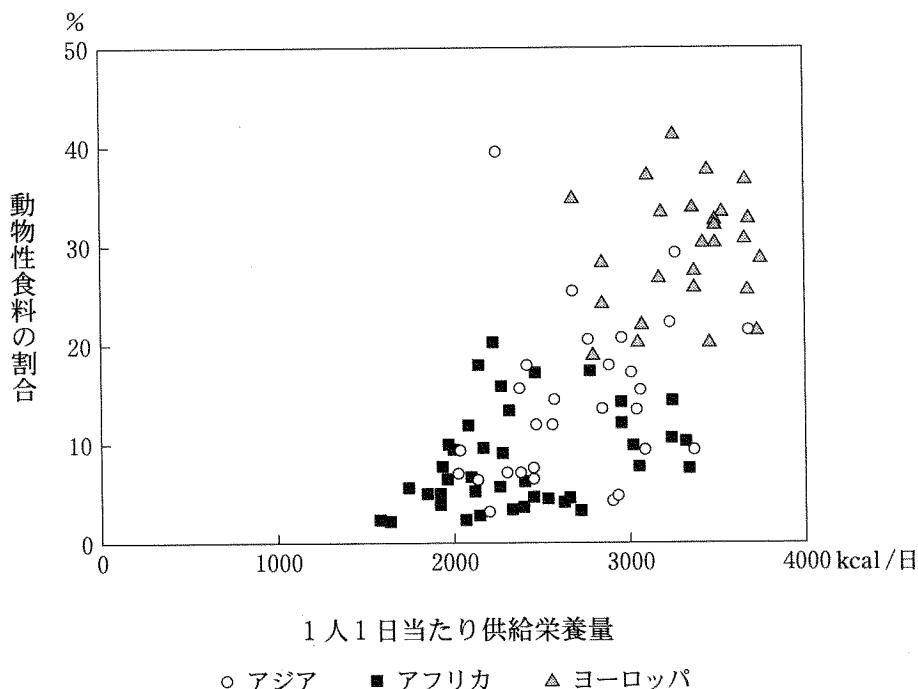
WHOの資料により作成。

図 1

	A	B	C
①	高位	中位	低位
②	高位	低位	中位
③	中位	高位	低位
④	中位	低位	高位
⑤	低位	高位	中位
⑥	低位	中位	高位

問 2 世界の人々の食物摂取の状況は地域によって大きく異なっている。次の図2は、1人1日当たり供給栄養量(熱量)と、それに占める動物性食料の割合を地域ごとに国別に示したものである。図2について述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32



統計年次は2002年。
『世界国勢図会CD-ROM』により作成。

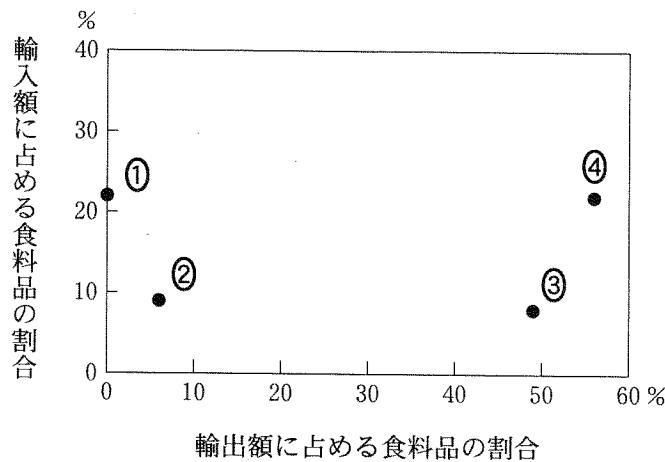
図 2

- ① アフリカの国々の多くは、他の地域に比べ、動物性食料の割合が低く、植物性食料に依存している度合が高い傾向がある。
- ② アジアの国々は、1人1日当たり供給栄養量が同程度のヨーロッパの国々に比べ、動物性食料の割合が高い傾向がある。
- ③ 1人1日当たり供給栄養量が多い国は、供給栄養量に占める動物性食料の割合も高い傾向がある。
- ④ 動物性食料の割合は、アジア、アフリカ、ヨーロッパのいずれの地域でも、最も高い国と最も低い国とでは2倍以上の違いがある。

地理A

問 3 次の図3は、輸出額と輸入額それぞれに占める食料品の割合を国別に示したものであり、①～④はアルジェリア、イギリス、コートジボワール、ニュージーランドのいずれかである。コートジボワールに該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

33



統計年次は 2003 年。

World Development Indicators により作成。

図 3

問 4 次のア～ウの文は、下の図4中のX～Zのいずれかの地域でみられる農地や水を確保するための取組みについて述べたものである。ア～ウと図4中のX～Zとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34

ア 農業・工業用水、飲料水などに用いるため、海水の淡水化施設を整備した。

イ 農地を確保するため、干潮時に現れる陸地に堤防を築き、海岸の湿地や干潟の干拓を行ってきた。

ウ 穀物生産地域を拡大するため、山脈をつらぬく導水路などの大規模な灌溉施設を整備した。



図 4

	ア	イ	ウ
①	X	Y	Z
②	X	Z	Y
③	Y	X	Z
④	Y	Z	X
⑤	Z	X	Y
⑥	Z	Y	X

地理A

問 5 食料確保にかかる課題とその解決策について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 農地拡大のために過剰な森林伐採が進んだ地域では、アグロフォレストリーによる食料生産と森林育成の両立などが必要とされる。
- ② モノカルチャー経済により食料が不足する地域では、自給用作物の増産に向けた技術協力が必要とされる。
- ③ 土壌の塩類化(塩性化)により穀物の栽培が困難になった地域では、大規模な灌漑施設の導入が必要とされる。
- ④ 内戦により生じた難民に対しては、国連組織などを通じて、避難先への緊急の食料援助が必要とされる。

問 6 食の安全性について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① アメリカ合衆国では、遺伝子組換え作物の安全性が不安視され、その栽培が禁止されている。
- ② EU(欧州連合)や日本では、農薬や化学肥料の人体や環境への影響が不安視され、農薬を減らしたり、有機肥料を用いたりする取組みが行われている。
- ③ 日本では、BSE(牛海綿状脳症)問題が発生し、生産・流通の過程で安全性を確保する取組みが強化された。
- ④ ヨーロッパでは、旧ソ連のチェルノブイリ原子力発電所事故により広い範囲に放射性物質が放出されたため、農産物の汚染が問題となった。

地理A

(下書き用紙)